

境界明確化の実績

菅原委員 森林境界明確化の実績は。

農林課長 予定していた中山地区が7月豪雨の影響で実施できず、萩野地区で※林地台帳の整備を行った。

菅原委員 航空レーザ測量の考えは。

農林課長 明確化作業を進めるうえで有効な手段。県との共同実施も模索したが、現在は単独実施の方向で検討している。

※林地台帳
地域森林計画の対象となつている民有林で、森林の境界や土地所有者などに関する台帳

進む町産材活用

菅原委員 町産材等木造建築推進補助金の実績は。

農林課長 総数は21件。内訳は住宅が18件、その内新築が7件、付属建物は3件。さらに町産材の使用件数は13件からご活用いただいた。

菅原委員 町産材は価格が高いと言われてきたが、補助金が活用された理由は、また拡充はあるか。

商工観光課長 町内の大工さん自ら営業した結果ではないかと捉えている。

農林課長 今後、需要が高まれば拡充もある。



商工費

鮎は増えたのか

竹田委員 鮎漁獲量拡大推進事業の成果は。今年度は、

商工観光課長 少し大きめの鮎を

290kg、約2万匹を10カ所に分けて放流した。ブラックバスの駆除大会もロングランで行い、265匹、115kgほど駆除したが、鮎の漁獲量は約3500匹ほどで、令和元年の78%。

町長 今年度は、のべ180人近い釣り人が約1千匹のブラックバスを駆除したが、鮎の漁獲量は見込みより少ない。駆除には相当な時間がかかるが、頑張つて取り組んでいくことがヤナ場を生かすために大切だと思つている。

消防費

地域防災の充実

横山委員 地域防災活動強化支援事業の補助金約40万円はどのように使われたのか。

総務課長 各地区の自主防災組織の防災訓練などに支援するもの。研修会や訓練のほか、ヘルメット、ベストなどの購入があった。

横山委員 自主防災組織の活動が共有されて下支えになれば良いと思う。共に参加し合うなど、つながりの部分があっても良いのではないか。

建設課長 十王地区で1件、畔藤地区で1件の合計2件となつており、町のホームページや町報をご覧いただいた際の申請と思われる。

教育費

ALT1名増員の成果は

竹田委員 ALT（外国語指導助手）を小学校に1名増員したが、どのような成果があるか。

教育長 3・4年生の外国語活動、5・6年生の外国語の授業全てにALTを配置できた。白鷹町の特徴として45分授業を15分ずつ3日に分けて、できるだけ毎日英語の時間を設け、その際にもALTを配置してい

土木費

危険ブロック塀の撤去

小口委員 危険ブロック塀等撤去促進事業の実績件数と申請の経緯は。

建設課長 十王地区で1件、畔藤地区で1件の合計2件となつており、町のホームページや町報をご覧いただいた際の申請と思われる。

総務課長 自主防災組織の連絡協議会でも周知しているが、地区での事業を今後共有しながら、町民の意識高揚につなげていきたい。

